

さっぽろ 四山動物園だより



学名 *Varanus komodoensis*
英名 komodo dragon
生息地 インドネシアのコモド国立公園(コモド島、ギルモンタン島、フローレス島、リンチャ島)の乾いた森やサバンナ、海岸など。
特徴 がっしりした大きな体が一番の特徴です。平均的な体長は2.5m前後、体重は60kg前後です。大きい個体では3mを超えるものもいます。
乾いたところを好みますが、泳ぎも得意です。
肉食で、主に哺乳類や鳥類、は虫類を食べます。(生きたものも、死肉も食べます)
獲物を何日も追いつける持久力を持っています。唾液にはたくさんの細菌が含まれていて、コモドオオトカゲに咬まれた動物たちは、たいてい細菌が体中をまわって死んでしまいます。
皮をとる目的でたくさん捕獲されたために絶滅危惧種になってしまいましたが、今では大切に保護されています。
今、日本でコモドオオトカゲを見ることができるのは、円山動物園だけです。「は虫類館」でその貴重な姿をご覧ください。

コモドオオトカゲ登場!!

インドネシアから世界最大級のトカゲがやってきました!



こんなに大きい!



肉食動物です



メス
愛称: コニ(koni)
2002年6月生まれ 6才
全長180cm 体重23kg
コナンと同じく動物園生まれですが、ちょっと神経質。それでも野生育ちの個体と比べるととても温和です。

オス
愛称: コナン(konan)
2002年4月生まれ 6才
全長228cm 体重54.5kg
動物園生まれで人に慣れており、とても穏やかで落ち着いた性格です。

ザリガニの展示を始めました

動物科学館で見られます

ニホンザリガニ

体長: 4~6cm
日本にもとから住んでいる唯一のザリガニです。冷たくてきれいな小川や湖沼にしが住みません。主に落葉を食べます。環境が悪化したうえに、ウチダザリガニに食べられたりして、絶滅が心配されています。



アメリカザリガニ

体長: 7~8cm
食用に養殖されていた蛙のエサとしてアメリカから持ち込まれたものが広まりました。今ではベトナムや学校の教材としても広く飼われています。水草や小魚・昆虫をどんどん食べてしまいます。また、水田を荒らすこともあります。



ウチダザリガニ

体長: 11~13cm
食用としてアメリカから持ち込まれ、北海道や滋賀県の一部に定着してしまいました。気性が荒く、よく共食いをして、ニホンザリガニなどの、もともとの小さな生き物たちも食べ荒らします。



みんなでニホンザリガニが住める環境を守りましょう。そして、アメリカザリガニなどの外来の生き物を飼っている人は、絶対に外に放さないで最後まで責任を持って飼ってください。

チンパンジーの赤ちゃん誕生

10月28日、チャコが可愛い男の子を産みました。



冬は恋の季節?



シンリンオオカミ
2月頃にメスが繁殖を迎えます。でもこの2頭は1年中仲良しです。(妊娠期間: 約60~65日)

ユキヒヨウ
12月から1月の間に、10日弱の短い繁殖期が来ます。この冬初めて同居するかも。ちなみに、ユキヒヨウは繁殖期にしか鳴きません。(妊娠期間: 約100日)

レッサーパンダ
1月から3月の間に繁殖期がやってきます。今は警戒心いっぱいの2頭も仲良くなるかも。(妊娠期間: 90~150日)